



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

São Paulo, SP – 01310-925

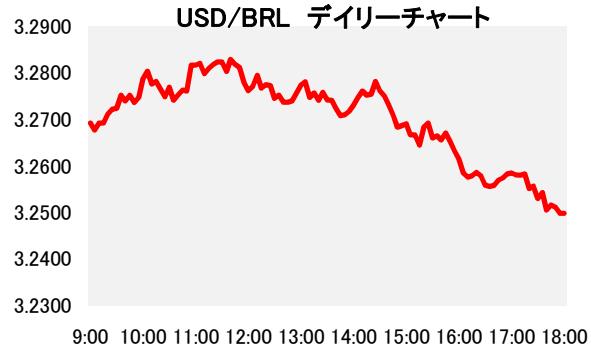
1. マーケット・レート

			7月13日	7月14日	7月15日	7月18日	7月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2640	3.2520	3.2800	3.2530	3.2490	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	31.99	32.39	31.99	32.63	32.65	+0.02
	EUR/USD	Spot	1.1089	1.1119	1.1035	1.1076	1.1019	-0.0057
	USD/JPY	Spot	104.47	105.35	104.88	106.18	106.12	-0.06
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.823	13.808	13.802	13.862	13.815	-0.048
	Future	1Year(p.a.)	13.157	13.124	13.168	13.172	13.131	-0.041
株式	On-shore	6MTH(p.a.)	2.315	2.438	2.335	2.205	2.218	+0.013
	USD	1Year(p.a.)	2.623	2.672	2.539	2.615	2.511	-0.104
株式	Bovespa指数		54598	55481	55578	56484	56698	214
CDS	CDS Brazil 5y		293.56	293.46	294.86	291.26	290.16	-1.10
商品	CRB指数		188.589	190.096	188.858	188.194	186.104	-2.09

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.82%	0.85%	0.78%
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.46%	0.32%	1.33%
(米)住宅着工件数	1165k	1189k	1135k
(米)建設許可件数	1150k	1153k	1136k



3. 要人コメント

伯経済チーム	今後2週間以内にテメル暫定大統領に対して景気刺激策を提案する。
--------	---------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2570で寄り付いた。米原油在庫増加の警戒感から原油先物価格が軟調推移すると、レアルは寄り付きから売りが優勢となった。伯中銀が予告通りドル買いスワップ入札を実施し、5億ドルが全額落札となるとレアルは3.28台まで下落。その後、IMFが2016年の世界経済成長率見通しを引き下げたことを受けてリスクオフムードとなると、レアルは安値となる3.2850を示現した。しかし、米住宅関連指標が予想を上回ったことを受けてNYダウが上昇に転じると、新興国通貨が買い戻された。レアルは高値となる3.2490まで反発しそのままクローズした。
- IMFが世界経済見通しを発表し、4月時点で3.2%としていた世界GDP成長率見通しを3.1%に引き下げた。これは2015年の成長率と同値で、IMFは今年の経済成長が上向くとの予想を撤回したことになる。IMFは英国のEU離脱決定に言及し、英国がEU諸国との新たな貿易協定の交渉に行き詰った場合、英国の景気後退が世界経済へ影響する可能性を指摘した。
- 伯中銀は、明日も5億ドルのスワップ入札を実施すると発表した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。